

(世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」遺産影響評価マニュアル(案)より抜粋)**(1) 顕著な普遍的価値を構成する要素**

顕著な普遍的価値（OUV）を次世代に継承するためには、OUV を伝達する属性を構成する具体的な要素を特定し、それらを確実に保全することが重要である。百舌鳥・古市古墳群の OUV を伝達する属性を構成する具体的な要素の特定にあたっては、『国指定史跡百舌鳥古墳群保存管理計画』及び『国史跡古市古墳群保存管理計画』に示される「史跡の本質的価値を構成する枢要な諸要素」を基本とした上で、新たな要素を追加し、要素を属性の細項目毎に分類した。

下線：新たな価値評価として追加する要素

属性の大項目	属性の細項目	属性を構成する具体的な要素
a) 49 基の墳墓 (世界遺産の構成資産)	a1) 幾何学的形状	墳丘、濠、外堤、外溝
	a2) 築造方法と材料	墳丘、葺石、濠、外堤、外溝、 地下に埋蔵されている遺構・遺物
	a3) 濠	濠、外堤、外溝
	a4) 考古遺物と内包物（副葬品、埋葬施設、埴輪を含む）	地下に埋蔵されている遺構・遺物
b) 古墳のセッティング	b1) 大阪地域における古墳の視覚的存在感	墳丘、 <u>視点場からの眺望</u>
	b2) 古墳間の今も残る物理的・視覚的つながり	墳丘、 <u>今も残る古墳間の見通し</u>
c) 無形的（古墳に備わった葬送文化的）な側面	c1) 独特な葬送習慣の物証	墳丘、葺石、濠、外堤、外溝、 地下に埋蔵されている遺構・遺物
	c2) 儀礼のための使用の物証	<u>祭祀、参拝</u>